小田原市文化振興ビジョン概念図

参考資料

＊ 策定に向けての検討段階のため、この概念図は今後変更となる可能性があります。

序章　なぜ、今、文化振興が必要か

はじめに
未来を拓くために文化が必要

なぜ文化？

1　文化とは何か
芸術　営み
アイデンティティ → 自治

はたらきかけ

2　文化振興の意義
（1）人へのはたらきかけ
ア　感動との出会い
イ　人と人のつながり
（2）まちへのはたらきかけ
ア　特色ある地域づくり
イ　経済の活性化

（3）文化振興の根底にあるもの
ア　自主性を尊重すること
イ　すべての人に開かれていること
ウ　経済と文化の循環

第１章　私たちが考える文化振興要

1　小田原の宝は何か
【温暖な気候と豊かな自然環境】
【首都圏等へのアクセスに優れた交通利便性】
【史跡小田原城跡をはじめとした魅力的な歴史・文化資産】
【伝統的な地場産業やなりわい文化】
【市民レベルでの文化活動の広がり】

良さが生かされる

2　小田原らしい文化とはどういうものか
ア　暮らしとともにある文化
イ　伝統と革新が息づく文化
ウ　多様さを生かし合う文化

今、求められているもの

3　文化振興で目指す小田原のすがた

希望と幸福感を持って暮らすことができるまち

人
互いを認め合い、コミュニティの絆を結ぶ

まち
小田原という都市ブランドを高める

良さが生かされない

第２章　課題と取り組み

1　まちづくりと文化振興の現状と課題
◆ コミュニティの強化
◆ 地域経済の活性化
◆ 芸術文化拠点の整備
◆ 担い手や後継者の育成
◆ 郷土愛を育む環境の醸成
◆ 情報発信力の向上

現代社会の構造的課題

◆ 行政の文化に対する取り組み

実現を阻む

実現される

小田原の良さを伸ばし、課題を解決する

2　施策の方向性と取り組み

（1）文化芸術を身近なものにする
（ひととして成長し、コミュニティの絆を強める）
ア　多彩な文化事業を行う
イ　文化が育つ場所を創る

（2）志ある人を育てる
（個の喜びをまちの喜びに広げ、まちづくりを担う人を育てる）
ア　小田原を知る
イ　文化の担い手を育てる

（3）まちの魅力を磨く
（地域資源に付加価値をつけ、競争力を高める）
ア　地域資源を生かす
イ　まちの記憶を伝える

（4）小田原を発信する
（小田原の認知度をあげ、人を呼び込んでいく）
ア　小田原の文化を演出する
イ　交流を拡げる

第３章　推進体制の整備に向けて

1　推進体制について

2　効果測定について

（平成 23 年 12 月 28 日現在）